

平成 27 年 3 月 25 日

東京発電株式会社

「深良川第二発電所」のリパワリング工事完了のお知らせ

このたび、東京発電株式会社(本店:東京都台東区 取締役社長:川村 忠^{かわむら ただし})は、平成 26 年 7 月に静岡県裾野市深良の「深良川第二発電所(大正 11 年 11 月運転開始)」のリパワリング工事に着手し、平成 27 年 3 月 20 日に出力 1,400kW から 1,600kW(水車発電機:横軸フランシス水車、三相同期発電機)に増出力を図り、営業運転を再開いたしました。これにより当社が関東甲信越に保有する 73 箇所の水力発電所の総出力は、185,000kW となります。

平成 26 年 7 月に着工した、静岡県裾野市深良の深良川第二発電所(大正 11 年 11 月運転開始)のリパワリング工事が完了し、3 月 20 日に運転を再開いたしました。

同発電所は、一級河川狩野川水系の深良川より毎秒 1.67m³ を取水し、約 110m の落差を利用して最大 1,400kW を発電しておりましたが、この度リパワリング工事を行い 1,600kW に増出力を図りました。リパワリング工事では、「水車発電機」「制御装置」「変電設備」「水圧管路の一部」「発電所建物」の取替を行いました。

今回のリパワリング工事により、当社が関東甲信越に保有する 73 箇所の水力発電所の総出力は、185,000kW となります。

同発電所で発生した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用して売電いたします。

当社は、同様のリパワリング工事を平成 27 年度から平成 31 年度までに 11 発電所計画(設備認定済み案件)しており、再生可能エネルギーの普及拡大とともに引続き電力の安定供給に努めてまいります。

【発電所概要】

- (1)最大出力:1,600 キロワット
- (2)水車横軸フランシス水車 1 台
- (3)発電電力量:年間約 880 万キロワットアワー
(一般家庭約 2,700 軒分の年間使用電力量に相当)
- (4)発電所位置:静岡県裾野市深良

【問い合わせ先】

東京発電株式会社水力事業部運営管理グループ 望月 Tel.03-6371-5159

東京発電株式会社ホームページ: <http://www.tgn.or.jp/teg/>

【プレスリリース】

●水車発電機

リパリング前



リパリング後



【ご参考】深良用水について

深良川第二発電所は、芦ノ湖から引水するために掘られた深良用水の水を活用し発電しています。

深良用水は、今から 340 余年前の寛文 10 年（1670 年）四代将軍徳川家綱の時代、水田の用水不足にあえぐ静岡県中駿地域（現在の御殿場市、裾野市、長泉町、清水町）の農民のために、約 3 年半の歳月と総工費約 7,400 両（現在の 7 億円以上）、延べ約 84 万人を投入して、芦ノ湖の水を静岡県裾野市へ導く、全長 1,280m（高低差約 10m）の水路トンネルを完成させたものです。

この水路工事は、両口から手掘りで行われたにもかかわらず、ほとんど高低差なく結合しており、当時の驚くべき土木技術の高さを物語っています。また、深良用水は、平成 26 年度の国際かんがい排水委員会の審査を経て、かんがい施設遺産に登録されました。

当社には、深良用水を活用した発電所は 3 箇所（合計 5,700kW）あり、いずれも大正時代末期に運転を開始し、現在も安定、安全に運転を継続しています。（深良川第二発電所の上流に深良川第一発電所 3,100kW、下流に深良川第三発電所 1,000kW）

※農林水産省 HP「江戸時代に掘られた水路トンネル深良用水」より

http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/museum/m_kakuti/13_fukara/

用水路トンネル内部



用水出口

